

# GP ラスベガス参加記



新小岩マジック

# 本書について

この本は、2013年6月21日（土）から6月22日（日）まで、米国ラスベガスで開催されたトレーディングカードゲーム「マジック・ザ・ギャザリング」の世界大会である「グランプリ・ラスベガス（G P ラスベガス）」に、1プレイヤーとして友人と参加した筆者のプレイ日記・旅行日記をベースに、友人の寄稿も交えて書きつづったものです。本当に楽しかったG P ラスベガスについて、読者の皆様にも感じていただければ幸いです。

2013年8月7日 筆者しるす

筆者について：

<https://twitter.com/kondohi> （ツイッター。最近はここメインです）

<http://otakutalker.diarynote.jp/> （ダイアリーノート。マジック関連はここで）

2023.9.14 改訂：

紙版およびV1.2まではShindo Yuukiさんの寄稿原稿を掲載していたのですが、本人にWeb 無償配布への正式な許可を得ていなかったのととりあえず削除しました。

# 目次

|                          |     |                             |     |
|--------------------------|-----|-----------------------------|-----|
| 参加を決める前                  | 4   | 2013年6月22日（土） GP 初日         | 2 0 |
| GP ラスベガスに行くことを決定し、ホテルを決定 | 4   | 4500 人ぶんのモダンマスタースと G P 本戦開始 | 2 0 |
| GP ラスベガス参加確定             | 5   | スリープインのデッキ構築と本戦参加           | 2 1 |
| GP ラスベガスのサイトを発見          | 5   | GP 本戦を離脱して土産購入              | 2 2 |
| GP のVIP 予約をする            | 6   | フータース、サイコー！                 | 2 4 |
| モダンマスタース狂想曲              | 6   | 2013年6月23日（日） GP 2 日目       | 2 5 |
| 出発前の情報収集                 | 7   | スーパーサンデーシールド                | 2 7 |
| M O（マジックオンライン）のモダンマスタース  | 8   | モダンマスタースドラフトの呼び出し           | 2 8 |
| 出発直前                     | 8   | 進撃の5－0                      | 2 8 |
| 2013年6月20日（木） 移動日        | 9   | ゲームロスと敗北                    | 2 9 |
| 米国に入国                    | 9   | ダウンタウンで夕食                   | 3 1 |
| ラスベガス到着                  | 1 0 | 2013年6月24日（月） 帰国日           | 3 2 |
| チェックインと夕食                | 1 1 | ホテルのプールと最後のカジノ              | 3 2 |
| 2013年6月21日（金） GP 前日      | 1 3 | 帰国                          | 3 3 |
| モダンマスタース・ミニマスターに参加       | 1 5 |                             |     |
| R D Gドラフトに参加             | 1 5 |                             |     |
| 会場離脱                     | 1 8 |                             |     |
| カジノ初体験                   | 1 9 |                             |     |

コラム ドレスアップの文化について 34

おまけ ラスベガスで買ったものなど紹介（微エロ） 35～36

## 参加を決める前

2012 年の年末や 2013 年の念頭には、今年の GP の開催予定カレンダーを確認しつつ、どのリミテッド GP に行こうかなあ…と考えていました。

6 月 21 日～22 日でのリミテッドの GP としては「GP ラスベガス」と「GP バンコク」が開催されることが目を惹いたのですが、当初は

- ・まあ確かにモダンマスターズの GP って面白そうだけどね…。
- ・でも米国って遠くて時差があるし、旅費も高いよね。
- ・指紋取られるのも嫌だよね。

とも思っていたので「GP バンコク」に参加するつもりで予定をたてていました。実際、バンコクの観光ガイドブックの最新版とかも購入していたのです。

## GP ラスベガスに行くことを決定し、ホテルを決定

記録によれば 2013 年 3 月 12 日（火）頃に「GP ラスベガスに行く」ことを決めています。理由はもちろん「モダンマスターズの GP なんて二度とないよね」ということでした。この時点で行くことは決めたもののカジノにも全然興味がなく、そもそも旅費やホテルがいくらかかるかも不明でしたが、先に調べていたアラジンさんと、メールで打ち合わせ。

**アラジン「6 日ツアーで 131000 円とか、そんな感じ」**

**アラジン「こっちも面白そう：フータースカジノホテル。金額は大差なし」**

**ひろじ「フータースホテル！ こりゃこっちじゃないですかね」**

というわけで瞬時にホテルを確定（笑）。ちなみにこの時点でフータースカジノホテルがどの程度のランクのホテルでいくらかかるかとか、そもそも GP 会場が市内のどこでやりこのホテルと近いのかどうかとかは、まったく調べてません（笑）。

## GP ラスベガス参加確定

先の会話を受けてすみやかにアラジンさんがエキスペディアで申し込みをしたので、3月13日（水）にGP ラスベガスへの参加が確定。

ラスベガスのシステムではホテルの宿泊費は部屋単位で課金されるので、アラジンさんと同室にして折半することに。まあおねーちゃんを部屋に呼ぶ予定もないし（笑）。

追加ベッドを申し込んで3人で一室とかして、もっと浮かすテクもあるみたい。

またガイドブック等で「フーターズホテルのカジノではフーターズガールがディーラーをやる」という情報を仕入れたため、カジノを遊ぶことにも興味が出てきました。

## GP ラスベガスのサイトを発見

ギルド門侵犯で遊んだりドラゴンの迷路の情報を仕入れているうちに3週間ほどが過ぎた4月3日（水）、ふとネットを巡回していてGP ラスベガスの公式サイトを発見しました。

**<http://www.cascadegames.com/events/933>**

GP ラスベガスに行くことは決めていたものの、主催が CascadeGames であることを知ったり、会場が Cashman Center であることを自分が知ったのは、この時点ででした（実はその程度の情報ならウィザーズのGP ページにすでに載っていたそうですが）。会場が自分の泊まるホテルよりダウンタウン寄りであることを知ったのも、この時です。

ともあれ以後、自分はこのサイトを巡回して最新情報を仕入れていくことになります。

基本的にはGP ラスベガスのサイドイベントをにらめっこしつつ、なるべく多くのモダンマスターズのトーナメントに参加すべくプランを立て始めます。

WMCQ に出たりしているうち3週間が経過した4月25日（木）、ウィザーズのページで今年後半のGP プロモが「全ては塵」であり6月8日の大会から切り替わるとのことに。つまりGP ラスベガスのプロモは「全ては塵」だということですね。ふむふむ。

## GP のVIP 予約をする

ドラゴンの迷路のプレリや発売記念などを行ううちに3週間が経過した5月14日（火）、久々にGP ラスベガスのサイトをチェックしたらオンライン予約受付が開始されており、同時に「VIP 待遇」という謎のシステムが発表されていました。

本戦参加費\$60に加えて、さらに\$60を加えると次のサービスが受けられるとのこと。

- 1) 参加賞のGP 限定プレイマット（先着順）が確実に手に入る
- 2) 参加賞 GP 限定スリーブ（先着順）が確実に手に入る
- 3) スリープイン・サービス（\$20）が無料で利用可能になる。
- 4) GP 本戦の座席が通常よりも50%広い「VIP 席」でプレイできる。
- 5) VIP 席は「固定番号」になる。※ただしVIP 同士の場合はジャッジが移動を案内する。
- 6) VIP 席は会場中央寄りの良い場所になる。
- 7) ペットボトルの水を、1ラウンド1本まで無料でサービス。
- 8) 希望すればアーティストのサイン会に優先で並べる特典も受けられる。
- 9) 日曜の夕方に無料の「VIP ドラフト(※バックはRDG)」に参加可能。\$20 相当。

この時点では「スリープイン」サービス自体が初耳でもあり「なんだこりゃ」とゲラゲラ笑ったのですが、とはいえ（1）（2）だけでも申し込む価値はあるかもしれず、勝手の分からない異国のGPでは「固定席」というのもありがたいかな…とか思えたので、結局、その翌日にはVIP オプションを含めて\$120の参加費を払って予約しました。

同様にアラジンさんもほどなくVIP 予約を済ませていました。

## モダンマstars狂想曲

5月20日（月）に、「ボブが再録される」という情報を皮切りに、モダンマstarsのプレビュー・ウィークが始まりました。同時にこの頃には「モダンマstars」がいかに品薄になりそうかという予約状況も流れて来ました。

これが「モダンマstars狂想曲」と呼ばれる騒動の始まりです。

この騒動は結局6月7日（金）のモダンマstars発売をピークに、その2週間後のGP

ラスベガスの頃にもおさまらずに、当初の希望小売価格が\$8 程度のモダンマスターズは予約時に価格を「希望小売価格」に設定していた一部の量販店では予約分を含めて当日の朝には瞬殺され、それ以外の店では普通に\$12-13 で売られるという結果になりました。これは世界的な現象であり、GP ラスベガスでも変わることはありませんでした。

自分はショップの大会予約状況や GP ラスベガスのサイドイベントでどれだけパックが剥かれるか等も計算しつつ「どう見ても大量のモダンマスターズが市場に出るのに、そんなに飢餓感を感じることはないのではないか」とも思ったのですが、結局 6 月一杯は世界的な熱気は冷めやらずな感じでしたね。

自分もこの時期には、いささか平常心を失っていたこともありました。反省。

発売直後から店頭では「1300 円なら買える」状況が続きましたが、確保できた多くのショップがリミテッドの大会を開いたため、パック自体の確保のため大会に足しげく参加していた方も多かったようです。

## 出発前の情報収集

出発前の 2 週間は、自分の DiaryNote で GP ラスベガスの最新情報を得られ次第更新し、サイドイベント参加予定や自分の行動計画を細かく立てていきました。

ホテルの場所と会場の場所などを基本にラスベガスの地理を頭に入れるようにしたうえで、交通機関を検討したり行きたい場所などをマッピングしたり。

なお、まだ 10 日ある 6 月 12 日（水）の時点で GP ラスベガスの参加予約者が 2100 人を超えたため、これは早くも過去最大の GP になることが予想されました。

加えて VIP 予約が 600 人になったため、VIP 予約はすでに受付を中止していました。

もっともこの頃は主催も「でかい会場だから大丈夫（死亡フラグ）」と言っていました。

## MO（マジックオンライン）のモダンマスターズ

6月15日（土）からモダンマスターズがMOで実装されました。

本編に倣って値段は通常の倍です。このため自分は\$30払って1回ドラフトやったものの、一没して「こりゃ割に合わん」と止めてしまいました。

ただしその2日後、モダンマスターズの「ファントムドラフト」の存在を知り、これは\$8で3時間遊べるうえ2勝できればほぼタダ、の仕様のためやりまくることになります。GP本戦前の練習としては、悪くなかったと思います。

## 出発直前

一週間前にGPラスベガスのオンライン予約人数が3千人を突破して、「会場は広いんで大丈夫さ HaHaHa」とか言っていた主催が「ごめん」をブログで発表する異常事態に。

とうとう直前になって前代未聞の「当日受付なし」が発表されました。

また基本「サイドイベントは抽選」になったため（そりゃそーだ）、自分も多くのサイドイベントは参加できない前提でプランを見直して観光を多めに入れることに。

ともあれ前日には荷造りを追え、いよいよ出発です。



## 2013 年 6 月 20 日（木） 移動日

会社を 18 時前に出て、新橋のラブホでシャワーを使って着替える。

時間があるので「チャーハン王」で夕食。

19 時半に女房と新橋駅で合流して荷物の交換をし、そのまま自分は羽田空港へ移動。

20 時過ぎに羽田に着いたので Global Wifi のモデムを借りる。

アラジンさんと、予定より遅れたよこくるさんと、21 時半に合流。

3 人で出国手続きをするも、自分がセキュリティチェックに引っかかる。

リュックサックの中にハサミがあるということで「そんな物を入れた覚えはないのだが」と思いつつ調べてみたら、果たして 100 均ショップで買ったハサミが入っていた。このリュックサックは以前に新小岩での大会主催の時に使ったことがあるので、その際にそのまま入れていたのだろう。即座に没収に同意してゲートを通過。

その後 1 時間くらい 3 人で軽食をつまみつつだべり、少し先の便のよこくるさんを送ってから自分とアラジンさんも搭乗して日本を発つ。

デルタ航空で 10 時間の旅だが、基本的には食事のとき以外はだいたい寝ていただけ。

機内の各座席に USB ポートがあったので、USB ケーブルを持ち込んでいれば iPad を充電しながら使えたのになーと思うも、もう遅い。

デルタ航空の CA はおっちゃんおばちゃんばかり。

機内食は食えなくもないが、別に金を払って食べたくない味。

## 米国に入国

日付変更線をまたいだため現地時間 6 月 20 日（木）の夕方、ロスアンゼルス空港に到着。

入国審査で指紋の 10 指を取られる。機械に指示通りに指をくっつけて撮影。

入国後、トランジットのための荷物を預けた後にそのまま空港から外に追い出される形に

なったので乗り換え先をしばし見失った。結局は、シャトルバスは使わずアラジンさんと何百メートルか歩いてターミナル5に移動して、デルタ航空のカウンターから再度空港に入り、搭乗手続きを行う。

セキュリティで噂の全身スキャンを受ける。さらに手荷物の中に、うっかり中身の大半が入ったペットボトルが残っていたので没収される。まあ仕方がない。

少し時間があったので空港内のマクドナルドに入るがくそ高い。ドリンク\$3とか何それ。アラジンさんと待つうち、よこくるさんもマクドナルドに登場。

自分たちより早く着いたくせに1時間後の便になるよこくるさんとラスベガス空港で落ち合う段取りをつけた後に、ロスアンゼルス空港を発つ。

## ラスベガス到着

1時間のフライト（機内は寝ていた）の後、ラスベガス空港到着。



シャトルでターミナル1に移動し、手荷物受け取りフロアに下りたら「一方通行」だったので最初面食らうも、そのままよこくるさんを待って1時間ほど時間をつぶす。

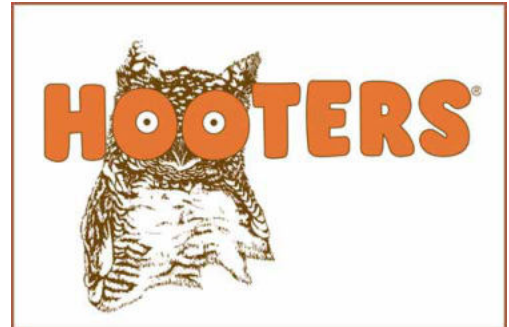
やがてよこくるさんから「到着した」という連絡を受けるが、手荷物の受け取りフロアを探すもそれらしい人が来ない。というよりよこくるさんの着陸便の情報が手荷物受け取り

フロアの端末に表示されていない。もしやと思って確認したら、よこくるさんの手荷物は我々が居る「ターミナル1」でなく「ターミナル3」であった。航空会社が違うためか。

合流して3人でタクシーかな…と思うも、ターミナル1からターミナル3へ移動するには2台のシャトルを乗り継ぐ必要があると判明。すでに現地時間午前1時を回っていたので、さすがにもうチェックインしたい。このため自分とアラジンさん、よこくるさんが別々にタクシーでホテルに行き、あとで均等割りすることに。

タクシーの運ちゃんに「フーターズホテル」と言っても通じなかったのだが、空港で手に入れたガイドブックの広告を見せると「OK ホーウ（※）ターズね」ということで通じた。

※フーターズのシンボル「フクロウ」の「ホー」の口真似。



## チェックインと夕食

フーターズホテルに到着してチェックインを済ませて部屋で荷物の解凍をしているうちによこくるさんが到着したので、3人で飯に行くことにする。

フーターズの入り口にロープが張られている。営業終了か。

狙っていたホテルのステーキ屋も23時で営業終了。

ひとつ向かいのMGMまで行ってレストランを探すかと考えるも、思い直してホテル内を再度歩き、結局、別の入り口でやっていたフーターズに入ろうとする。

受付のお姉ちゃんに飯が食いたいというと「テーブル席でなくカウンター席で良いか」

「15分で食ってもらうが良いか」と言われたため2時閉店なのかな？と思いつつ見るとカウンター席も3人ぶん空いておらず、さすがに15分で食うのはちょっと…と一旦断念して店を出るも、どうも明らかに閉店する雰囲気ではない。再確認のうえこれは「15分待ちだが良いか」の意味であることが判明（笑）。3人とも英語はこの程度。カウンター席を薦められた理由はよくわからない。

フーターズでは1人1つずつハンバーガーを注文し、さらにチキン皿を追加。  
ハンバーガーうめえ。\$12で文句なし。来て良かった。日本だと1600円くらいするんで  
頼んだことなかったんだよなー。

3人で満腹になり満足。勘定を見ると、チップ代が固定ではなく「10%ならこの額、  
15%ならこの額。あとはお心次第」と書かれていたので、3人で\$80。まだ慣れないため  
ちょっとチップが多かったかも。

パスポートを持参してフーターズクラブの会員証を発行して貰って終了。

シャワーを浴びて日記を書いたら4時。寝よう。明日は8時起きの予定である。



フーターズホテルの磁気ルームキーのカード。  
当然ながら1人に1枚ずつ発行で、お持ち帰り可。



フーターズクラブの会員証。  
同時にくれたクーポンブックと一緒に使用することで、  
各種の割引サービスなどを回数限定で獲得。

## 2013年6月21日（金）GP 前日

朝になった。

ネットで情報を見たら、昨日で受付を締め切った GP ラスベガスの参加人数はなんと 4500 人になったことが判明。遊戯王を抜いて世界一。

そして全体を 4 つのブロックに分けて運営するらしい。自分は「青」ブロック。

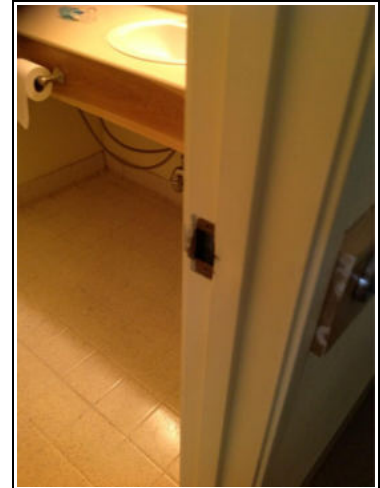
シャワーを浴びようと思ったら、バスルームのドアの鍵が壊れていて中に入れないというトラブルがさっそく発生（笑）。  
フロントに電話をして鍵を壊してもらう。

まあ、今朝はシャワーはなしで。

よこくるさんと合流して朝食はやっぱりフーターズ。

サンドイッチにコーヒーを頼むが、乾燥のせいか喉が渇く。

コーラのほうが合っていた感じ。



twitter で、すでに会場に並んでいるみらこーさんのつぶやきを読みつつホテルを出る。

最初に軍資金確保のため、Citibank の ATM のあるセブンイレブンまで 3 人で歩く。

途中、キティちゃんの着ぐるみのパフォーマーが居たので \$1 払って写真を撮影。

なかの人は声を聞く限り女性であった。



ATM で無事に Citibank のカードを使うことができ軍資金確保。ついでに飲み物など確保。

どうやらベガスでは 500ml ペットボトルは 2~300 円するのが標準価格らしい。意外。

タクシーで会場に移動。すごい行列だ。みらこーさんもこの中に居るのかな。  
とりあえず3人で列の最後尾に並ぶが、さて列はどれだけ長いのか…ということで2人を  
並ばせたうえで自分は先頭の確認に移動。200mくらい進んで会場入り口に到着。  
係員に聞くと「お前はVIPか？VIPなら並ばず入っていいぞ」と言われたので、さっそく  
並んでいる2人の所に戻って、VIPでないよこるさんを秒で見捨てて列に  
残したままアラジンさんと2人で「じゃあ」と別れて入場。  
人情紙のごとし。すでにこの時点でVIP爆アド。これが銭の力や(\$60)。

さっそくアラジンさんと2人でエントリーの列に並ぶ。しかしあまり列の動きが早くなく、  
結局そのまま1時間くらい並んだうえで参加登録を行い「プレイマット」「スリーブ」  
「VIPバッジ」「ミニマスター参加証」「GPプロモ」を受け取る。  
受付の列に並んでいる時点で「プレイマットを\$45で買うよ」という紙を掲げている業者  
が居た。まあ売りませんけど。



なお、最終的にはこのプレイマット、買い取り価格が\$90 になりました。  
確実にこれが入手できただけでもVIP爆アド。

## モダンマスターズ・ミニマスターに参加

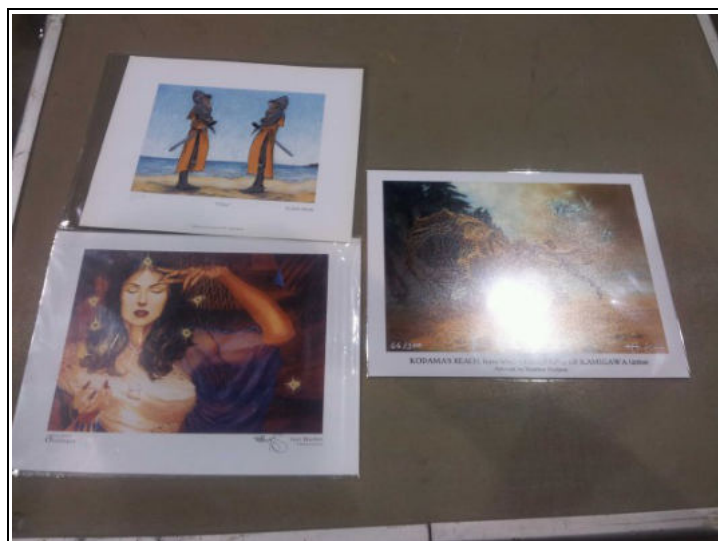
続いて、本戦参加者のもう1つの特典である無料「モダンマスターズ・ミニマスター」に参加。どういう風にやるのかと思ったら、32人のフライトポッドでやるのね。なるほど。一緒にエントリーをしたアラジンさんと同じポッドに配置されて開始。

ミニマスターは基本土地を混ぜてランダムにシャッフルするのではなく、この1パックに基本地形を足して30枚以上の「構築」を行うというもの。まあ1回戦は不要なカードを抜いて可能であれば色を減らしてデッキを尖らせることしかできないだろうけど。

自分のパックは「青命令」を引いたので元は取れたものの、必然的に4色・5色デッキになる1回戦ではトリプルシンボルのカードはちょっと使えないと思われたので没にする。他にはパツとしたものもないそのプールで4色デッキを組むも、一没して終了。アラジンさんはミニマスターを勝ち進んでいたのも、自分は離脱する。

## RDGドラフトに参加

ミニマスターを順調に勝ち進んでいるアラジンさん（結局4戦できたようだ）や、その後ようやくエントリーできて参加できたよこくるさんのミニマスターを待つのは暇なので、しばらくぶらぶら買い物をし、プリントなど購入。



さらに抽選の「GP Preview」シールドに落選したのを確認しつつ、結局暇になったので \$15 払って、フライトで立った RGD の 8 人ドラフトに参加した。

1-1 は《Ral Zarek》。を、元は取ったな。青赤スタートを念頭に置いてピック。

1-2 は《Warleader's Helix》。を、らせんが流れてくるのか。迷わず取る。白青赤を軸に進める。

以後、5 手目くらいで《Armed+Dangerous》が流れてくるのに驚きつつ取ったりしつつ白赤青のカードをピックし続ける。白青門を 2 枚も引けたのは幸い。

2-1 で《Holyb Mantre》。2-2 で《Unbis Protector》と「白が濃くなってきたな…」と思いつつピック。

低い順目で《Madcap Skills》が流れてきたものの、3 パック目がアゾリウスであることを踏まえつつ白青タッチ赤かなとか考えつつ。低い順目で《Cloudfin Raptor》が来たのにも驚きつつ、白青赤を取りまくる。

3-1 で《Niv-Mizzet》。さっき白を濃くとか考えていたのにこれかい。均等三色は負けフラグなんだが…と思いつつ、でも色は合っており取らない理由はないので取る。

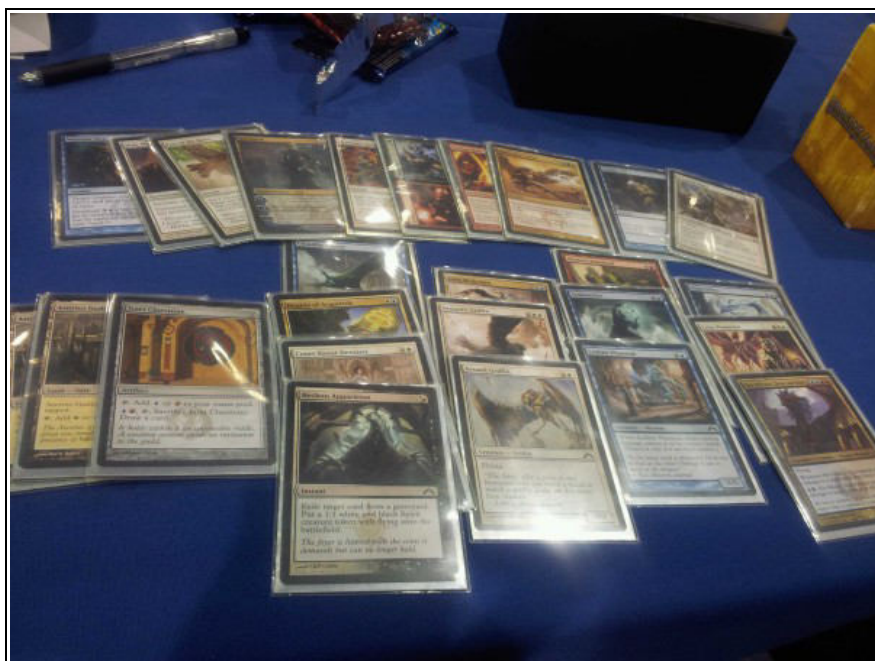
あとはアゾリウスの飛行生物を中心に、取れるだけ取る。

《Trostani's Judgement》が一周したのに驚く。居住は無視しても確定除去なのね。

結局、デッキはこんな感じ。導き石込みの 41 枚。

Creatures: 13 ※確定トークン生成はクリーチャー扱い

《Cloudfin Raptor》  
《Deputy of Acquiials》  
《Court Street Denizen》  
《Sunspire Griffin》  
《Lyev Skynight》  
《Assault Griffin》  
《Eyes in the Skies》  
《Viashino Shanktail》  
《Leyline Phantom》  
《Voidwielder》  
《Urbis Protector》  
《Maze Glider》  
《Niv-Mizzet, Dragogenius》



Spells: 11

《Mizzium Skin》  
《Beckon Apparition》  
《Armed+Dangerous》 ※武装のほうだけを使用を念頭に  
《Madcap Skills》

《Izzet Cluestone》  
《Holy Mantle》  
《Ral Zarek》  
《Warleader's Herix》  
《Knightly Valor》  
《Totally Lost》  
《Trostani's Judgement》

Lands:17

《Azorius's Guildmage》\*2  
《Plain》\*5  
《Island》\*4  
《Mountain》\*6

### **Round1 Kennyさん 白黒緑 ○×○**

G1 向こうクリーチャー事故で勝ち

G2 基本的にこちら有利で場を制圧しつつ進め、あと12点で空から2回殴ってレースに勝てるかな…と思ったら、きっちり10点持っていられる爆発力のプレイをされて負け。

G3 一撃死を警戒しつつ、危なげなく空から殴り続けて勝ち。

### **Round2 Gabeさん 青赤緑 ○○**

順調に展開できてラル様無双もできて、比較的やすやすと勝ち。

優勝すると確かモダマスの無料ドラフトだよな…というのを初めて意識する。

### **Round3 Alecさん 白緑 ○×○**

G1 相手のケンタウロストーンが増殖するまえにバウンスさせたり、ラル様で焼いたりらせんで焼いたりするプレイングで、相手を制圧して空から殴って勝ち。手札のニヴ様も出せる状態だったが「これは隠しておいたほうがいい」と出さずに勝てたほどの余裕勝ち。

G2 白赤キープしたら、7枚目の土地まで島を引かない事故。さすがに負けた。

G3 相手のケンタウロストーンを除去したりしつつ、危なげなく勝ち。

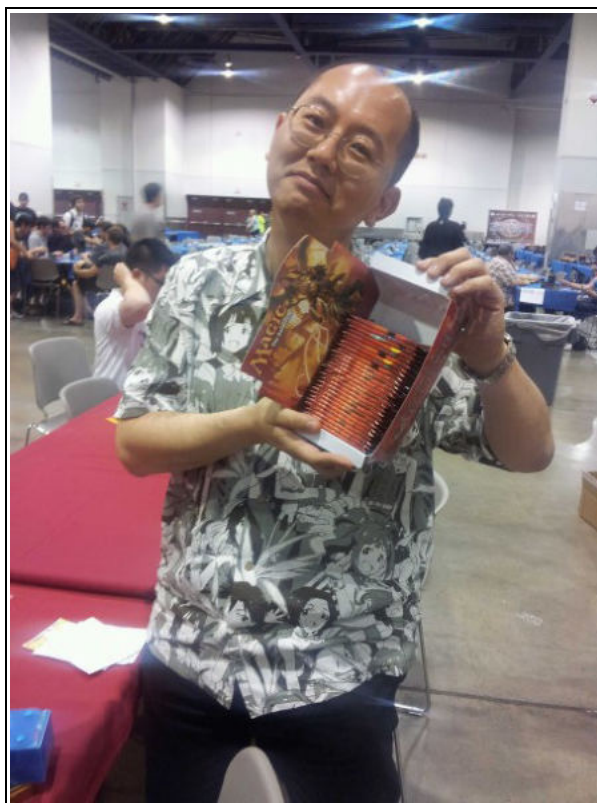
結果3-0の優勝。ををモダマスの無料ドラフト権ゲットだぜ！すごいぞ俺。

## 会場離脱

自分がドラフトで勝ち進んだため、ミニマスターを終えたアラジンさんとよこくるさんが今度はM13でのGPTシールドに参加していた。

ドラフトを気持ち良く優勝できた自分は、さすがにあとは待つことにして会場をぶらぶら。気分がいいので、とあるショップが作っていた「GPラスベガスプレイマット」全5種類を購入。1枚\$20の奴を5枚セットで\$90で奮発して購入。気分がいいからな！

結局、よこくるさんとアラジンさんは2人とも勝ち進んだうえで（2人ともスラッグ牙を引いてやがるw）直接対決してアラジンさんが勝ったり、そのアラジンさんは、準決勝まで進むという快挙を成し遂げて終了したり（一杯パックを貰っていた）。



その後、若干の段取りミスで会場を出損ねたりしたすえに、会場離脱。

今日はステーキだ！ということで3人でステーキハウスで分厚いリブステーキを喰らう。うまし。満足してホテルに戻る。

## カジノ初体験

まだ眠くなかったので「よし！では次はカジノだ！」ということで、フーターズホテルのカジノに繰り出すことにした。

とりあえず\$50 ほどを投入して、一番安いミニмум\$3 のテーブルで、ブラックジャックをちびちびと遊び始めたのだが、2 時間たってもチップがちっとも減らないのに驚いた。ディーラーのおっぱい鑑賞料としてはこれは安いものだ。

しかしそろそろ眠くなってきたうえ、トイレで席を外したら\$3 テーブルの空席が無くなってしまったので、そのままふらりとミニмум\$10 テーブルに座って、残りのチップを全部すって終了。

ま、こんなもんだろう。

もう 4 時だが、眠りにつく。



フーターズのカジノコインはフーターズガール 1 人 1 人をあしらっている（各コイン限定 2000 枚）。土産に何枚でも持って帰りたいシロモノであるが、一番安いオレンジの\$5 チップでも 1 枚\$5 なのであるのちょっと無理。なおラスベガスのカジノで一番安い白の\$1 チップにはフーターズガールの写真は入っていない。分かっている。

## 2013 年 6 月 22 日（土） GP 初日

目が覚めてしまったので 5 時半に起きる。

今回の GP ラスベガスの「満員で本戦参加希望者を断る」という前代未聞の事態を受けて、「本戦の非参加者が参加できるモダンマスターズのドラフト」を開くことにしたらしい。それはなかなか粋なはからいですね。自分には無関係ですが。

今日の朝食もフータース。今日はパンケーキとコーヒー。

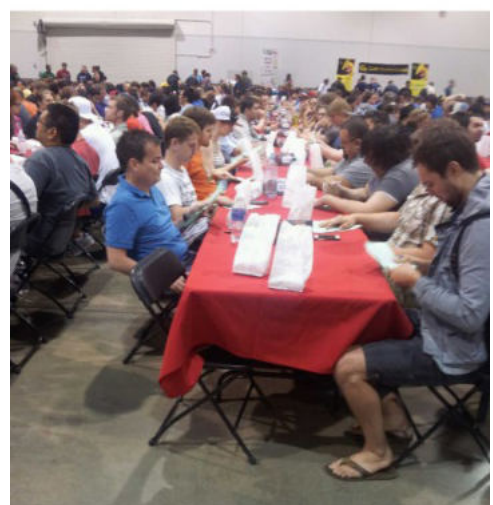
3 人でタクシーを拾い、まっすぐ会場へ。会場で待っている間に、うっかりホテルで買ったコーラの瓶を空けたら発泡して床を汚すなどのトラブル（掃除した）。

シートオールが発表されたので見たら、BYE リストを含めても自分の名前がどこにも無いので焦る。本部に問い合わせなどした結果、SIS を申し込んで BYE を持つプレイヤーは、このシートオールに名前が載っておらずこれから登録するということらしい。ほっとした。このため開始時は暇な状態になったので、ここぞとばかり GP 開始の様子を撮影。

## 4500 人ぶんのモダンマスターズと GP 本戦開始

会場に山積みになった膨大なモダンマスターズが、いよいよ配られる。ざっと 25000 パックほどになる。

会場全体は中央の本部を中心に点対称に 4 分割されたうえで、白青赤緑のブロック名がつけられている。それぞれのブロックにはその色のテーブルクロスがかけられたうえ記録用紙などの色もブロックの色と合わせられており、間違えにくい。これは賢い。



1 人の一式（6 パック、同意書、登録用紙など）をあらかじめ紙袋に個包装したうえで、それを投げるようにプレイヤー全員に配る。なるほどこの方式はちまちま 6 パックずつ座席のプレイヤーに回したり、別途で用紙を回したりするより事前準備はかかるがずっと迅速に確実に配れますね。これは賢い。

雑な配り方で良いのが最大のポイント。

これがヤンキーの合理主義。日本の気配りは過剰品質。

まずはメディア同意書を一齐回収する。拒否する人とか居たのか、よく分からない。

基本土地はあちこちのテーブルに積んである。

パック開封とチェックパックの開始。

開封後「そのプールを持ってドロップしたい人はしても良い」というアナウンスがあり、これを受けて 20 人くらいが即座にドロップした。まあタルモとか、タルモフォイルとか持っていたんだろうなあ。そりゃ無理もない。

|                                                     |
|-----------------------------------------------------|
| 後日いささか議論があり、ベガス式「チェックパックを持ってドロップ」は正式に「OK」という裁定になった。 |
|-----------------------------------------------------|

その後、デッキ構築ののちラウンド 1 が開始される。

## スリープインのデッキ構築と本戦参加

そろそろスリープイン bye1 の自分はデッキ構築を始めねばならない筈だが…と思うも（耳をそばだてていたが）何のアナウンスもなし。

さすがに不安になったので本部に聞きに行くと「現在スリープイン bye2 の構築をやっています」と言われる。えっ。もしかしてアナウンスを聞き逃したのか？

まさかこれで GP 失格はないとは思うが、ラウンド 2 の不戦敗くらいは受け入れねばならないのだろうか…と思いつつ、教えられた場所に行く。

指示された場所に行ってジャッジに話しかけると「OK、ここで座って待て」と言われる。周囲を見るとどうやら同類多数。どうやらアナウンス聞き逃しでは無かったようだ。というより、どうやらこれは「スリープイン bye2 までの構築」という意味であった模様。

名前を伝えて着席し、渡されたパックで構築を開始。

これでラウンド2の開始に間に合うのか？と思ったものの、間に合った。その答えは「チェックパック」にある。渡されたパックはすでに開封済みであり、プールは渡されたデッキリスト用紙に記入済みだったのである。このためこちらはただちに構築を開始してデッキリストに記入して提出するだけで終了で、普通にラウンド2に間に合った。スリープインのためスタッフ（ジャッジ？）が人数分チェックパックを終えていたわけだ。

自分のデッキは残念なプールで弱いフェアリーしか組めずに、結果 bye 込みでの 2-3 になった所でドロップした。あっけないものだが、これで自分の GP 本戦は終了である。

## GP 本戦を離脱して土産購入

ドロップせず本戦を粘って PWP を稼ぐか、今日もサイドイベントに参加をするかという選択肢もあったのだが、今日は「女房に依頼された土産を買いに、ロクシタンに行こう」というミッションをクリアするべきだと判断したので、まだ本戦に参加しているアラジンさん・よこくるさんと別行動にすることにし、1 人タクシーで Premium Outlet North へ。夕方 5 時だというのにギラギラした太陽で目を開けていられない。

ロクシタンでの土産ミッションは無事にクリアしたものの、正直服とか靴とかにぜんぜん興味のない自分には Premium Outlet North はマジで見るべきものなし。



女性向けガイドブックには「一日潰せる」とか書いてあるのだが（笑）。

小一時間ほど歩いてみるも、やっぱり何もないのでタクシーで離脱する。アラジンさんとよこくるさんをここの買い物につきあわせなかったのは正解だったと心底、思う。

タクシーで M's World に移動し、土産用のネーム入りのチョコレート作成機の画面を操作しつつ作っているうち、アラジンさんが到着。まだ本戦を勝ち進んでいたよこくるさんを置いて1人で離脱してきたらしい。今日はみんな、タクシーが割高な日だったね。

M&M World で作成したネーム入り

M&M チョコレート。

自分で好きなテキストを入力したり、所定のアイコンを選んで刻印可。



そろそろ日が暮れてきた（20 時頃）が、さて夕食はどうすべえということで、アラジンさんと「バフェイ」なるものを試そうと思うも、ろくに調べずとりあえず New York New York までぶらぶら歩いてみることにする。カジノ内の光景はなかなか眼福（際どい格好のおねえちゃんがダンスを踊っていたり）ではあったが、しばらく探してもバフェイらしきものを発見できず。レストランはあったのだが。

それではと来た通りを戻って今度は MGM Grand に入ると「22 時につき本日のバフェイ終了しました」とのこと。あうー。やはりちゃんとガイドブックなりで調べるんだった。

仕方がないので MGM Grand のカジノの中を徒歩で突っ切りいったんフーターズホテルに戻る。ベッドに横になるなり、自分はしばし意識を失った。まあ、疲れてるよね。

30分ほど意識を失っていたようだが、ほどなくよこくるさんもホテルに戻ってきた。  
結局はよこくるさんも、2日目に進めなかったらしい。まあ仕方がないね。

## フーターズ、サイコー！

それでは夕食にしようと、今夜はフーターズホテル 1Fにあるレストラン Mad Onion に入って\$9.95のプレミアムリブステーキを注文してみる。

うまい。

というよりコレ下手したら昨夜の\$30のステーキよりうまいんじゃない？

少なくともあっちに3倍の値段を払うほどじゃないぞ。さすがは庶民派フーターズ。

次回があったらもうステーキは毎回ここでいいんじゃない？で意見が一致。

サイドメニューも含めて腹いっぱい食べる。

そしてやっぱり今夜もカジノにチャレンジ。

例によって\$60をブラックジャックのミニマム\$3席に座ってちびちび遊ぶ。

途中、残チップが\$15分くらいまで沈んで「これ使い切ったら止めるか、それとももう\$100突っ込むか（やめろ）」とか考えていたら、そこからまた勝ち出して気がついたら原点を越えていたのだが、そろそろ寝ようと思って止めた。

結果は3時間遊んで、\$30ほどのプラスになっていた。

をを、収支プラスで終わることも可能なのか。やべえカジノ面白い。

さすがにこの日は日記も書けず、まっすぐ部屋に帰って寝た。2時回ってたし。

## 2013年6月23日（日）GP 2日目

結局、GP 2日目に進めなかった今日は3人ともゆっくりでいいので、ひとつバフェイというものを試そうということになり、起きた後にパリスまでタクシーで移動。

バフェイは\$30 くらいしたものの、会場で昼食を取る予定も無かったことから、元を取るべく朝昼兼用で目一杯食べたいものを皿に乗せて詰め込む。うめえうめえ。

「自分で皿に盛ったものを残す」という人の道に外れたことはできないので最後のほうは少し苦しめに腹に詰め込む。堪能。しかしもう食べられません。



ニューヨーク・ニューヨークもそうだったが、パリスもでかい建物の中に小さい建物があって一見すると「天井が空に見える」という趣向。すげえ。

コンビニでリップクリームや髭剃りを買って、タクシーで会場へ。

今日は基本的に3人は別行動。何かあったらお互いに twitter DM を送ったうえ、携帯にワンギリしようということにして会場内で別れる。

自分はまず、金曜に権利を獲得した「モダンマスターズの無料ドラフト」を逃すわけにはいかないということで8人イベント受付に並び登録。しかしいつ8人揃うんだろう。

その後「よこくるさんに会ったら「アラジンさんと一緒に\$20のチャリティーシールドに

エントリーしたってー」というので、自分も参加したくなってエントリーに並ぶ。しかしあいにくチャリティーシールドは11時になって締め切ってしまっていた。しかし「スーパーサンデーシールド」ならばエントリーできるよということだったので、そのまま\$30払ってエントリーをする。

しばし会場をぶらぶらする。

バイヤーブースの日本語カードやフォイルの値段に、今度GPで渡米することがあったら自宅に転がっている日本語カードを持ってきて売ろうかなとか考える。

会場では不要になったテーブルの圧縮が始まっている。ざっと会場の入りは半分くらいか。

初日だけの参加者って多いんですね。

このため会場の温度は昨日よりはだいぶ低く、冷房が寒い。このため念のために持ってきていた薄手ジャケットを今日はおる。持ってきて良かった。



金曜日に「5種類セットで\$90」で買った1枚\$20のラスベガスプレイマットが、1枚\$15の2枚で\$20に値下げしているのを発見。

まあ確かに、これは今日で売り切らないと確定不良在庫になる代物だが、初日にほぼ倍額で買ってしまっていた自分はorz

初日に買ったこの5枚はあくまで「自分用」なので、土産に少し買い足して行こうかな。

## スーパーサンデーシールド

そうこうするうち、スーパーサンデーシールドのシートオールが張り出されて開始。

128名の7回戦。定員256人のちょうど半分で無抽選。上位16名まで賞品が出る。

デッキ登録用紙にチェック登録を行ったのちスワップ。自分のプールは《天使の散兵》と《ミミックの前駆》というボム2発。普通はこれらのどちらかが残れば勝てる。

よし、これは頑張れるかも。頑張ろう。

デッキはこんな感じ。

基本は天使の散兵とミミックというボム2発をフィニッシャーに据えたデッキにする。

このためバントカラーの3色がベースだが、除去が無ければ話にならないのでタッチ黒と赤を入れた5色デッキに。門を4枚ぶちこんだ「5C門デッキ」と命名。

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                               |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>Creatures:15</p> <p>《Centaur's Herald》</p> <p>《Gatekeeper Vine》</p> <p>《Deputy of Acquittals》</p> <p>《Basilica Guards》</p> <p>《Seller of Songbirds》</p> <p>《Slaughterhorn》</p> <p>《Vassal Soul》</p> <p>《Sunspire Gatekeeper》</p> <p>《Saruri Gatekeeper》</p> <p>《Rubbleback Rhino》</p> <p>《Rust Scarab》</p> <p>《Golgari Longlegs》</p> <p>《Angelic Skirmisher》</p> <p>《Progenitor Mimic》</p> | <p>Spells:9</p> <p>《Swift Justice》</p> <p>《Wake the Reflections》</p> <p>《Simic Charm》</p> <p>《Prophetic Prism》</p> <p>《Avenging Arrow》</p> <p>《One Thousand Lashes》</p> <p>《Punish the Enemy》</p> <p>《Trostani's Judgement》</p> <p>《Armed + Dangerous》</p> | <p>Lands:17</p> <p>《Boros Guildgate》</p> <p>《Gruul Guildgate》</p> <p>《Izzet Guildgate》</p> <p>《Simic Guildgate》</p> <p>《Plains》 * 7</p> <p>《Forest》 * 6</p> <p>Sideboards:</p> <p>《Swamp》</p> |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

このデッキには、すごくおかしい所が一箇所ある。門が4枚もあるものの、強力な除去である《千叩き》が除去スロットに入っているにもかかわらず黒マナが出る土地がないのだ。しかも重い5色デッキならば当然採用するであろうランタンすら（引いたのに）入れていない始末。

つまりプリズムを引かなければ千叩きは唱えられないのである。

実のところこれは**ただのミス**であって、このためサイドボードに沼を1枚入れそれを毎回2ゲーム目に森と入れ替えた（笑）。勝ちすすんだ関係でデッキチェックが2回もあったのだが、きっとジャッジがブゲラしていたことだろう。

基本、青マナが出るのも6マナ目でいいので、結局セレズニアのタッチ青黒赤の5色デッキということになった。どう見ても普通は色事故で死ぬデッキなのだが、今日は右手の光り方が半端じゃなかったもので、何とこれで5-0。

## モダンマスターズドラフトの呼び出し

デッキ構築中に会場の全体アナウンスで自分の名前が呼ばれる。繰り返し何度も呼ばれる。もちろんこれは「モダンマスターズの8ドラフトが揃ったから来い」のアナウンスだろう。

しまったー。これでプールがうんこだったら即座に離脱して向かえば良かったのだが、このプールはちょっと強そうなので頑張る気持ちでアナウンスを無視することにする。

構築終了後にサイドイベント本部に行くと「10分たってもお前が来なかったからモダンマスターズのドラフト2番卓に移したよ。今度は来いよ」と言われる。まあ、そうだよね。とりあえず次がいつ立つか、自分がいつドロップをするかも不明だったのでそのまま継続。

しかし1回戦の対戦中に、再度会場の全体アナウンスで自分の名前が呼ばれる。

ああああああああ。予想よりだいぶ早い。しかし対戦中であるし何よりもこのゲームは勝てそう。5～6回名前を呼ばれたような気がするが無視し続ける。すまん。このプールは結構いい感じなので、勝っているのにドロップするのはちょっと惜しい。当面はシールドに専念するしかないな。

引き続き場内アナウンスで名前を呼ばれ続けるのだろうか…と心配するも、さすがに2連続ですっぽかしたので、幸いにして以後呼ばれることは無かった。とりあえずドラフトキューからは削除してくれたらいい。すいません  
後で3バックくれれば文句言いません。

## 進撃の5-0

そして1回戦は土地事故で負けたのを含めても2-1で勝てたのだった。相手は白赤緑。

そして2回戦では、一時白青赤の相手にライフが2まで追いこまれるも「天使の散兵」でライフを回復して持ち直したうえ「ミミックの前駆」で天使を毎回コピーするという地獄コンボが決まって2-0勝ち。

なお、この頃みらこーさんや Yuuki Shindo さんらは「ラヴニカ新旧・日本語シールド」というわけのわからないサイドイベントに参加していた。結局は、意外にも日曜のサイドイベントはどれも無抽選だったようだ。

3 回戦。2 連勝のためデッキチェックを受ける。問題なし。

青赤緑の相手に 1-1 の状態で 3 本目ライフ 1 まで追い込まれるも、またしても天使で回復して持ち直した後にミミックが出て天使をコピー。向こうが頭を抱えつつ何とかミミック本体を除去しようと火力 2 発をミミックに打ち込もうとするも、2 発目の火力に対応してこちらが「返済代理人」を唱えてミミックを手札に戻し向こう投了。ちょっと脳汁が出た。

待ち時間にぶらぶら歩いていて、サイドイベントごとにプリンタ用紙の色を変えるという工夫に気がついて感心。こりゃ、スリップの放り込み場所をプレイヤーが間違えても無問題ですね。こういう工夫は、すごくいい。昨日の本戦でプリンタが少なくとも 4 台ある（ブロック毎に色の違う用紙で印刷）ことが分かっていたので、こういうこともできるわけですね。「専用」にしてしまえば違う色の用紙を入れ間違え危険もない。工夫、大事。

4 回戦。

青黒赤緑の相手に 1-1 の状態から 3 本目はライフ 5 まで追い込まれるも、ミミックが出て「太陽塔の門番」をコピーして 2/4 警戒と 2/2 警戒がコピーで出る。以後、除去されずに毎回これが増え続けて「そろそろいいか」とばかりに殴って勝ち。

5 回戦は白青黒。

そして全勝のため再度のデッキチェック。問題なし。

そして危なげなく今度はさくっと 2-0 での勝利。

おおおおお 5-0 か俺！ 凄いぞ俺。今日の右手の光り具合は半端ではない。

そしてつまりあと 2 回握手をすれば決勝ドラフト確定なのか。ひゃっほう！

## ゲームロスと敗北

そもそも GP のスーパーサンデーシールドどころか、そのへんの CDC や PWC などの野良大会ですら 5-0 なんて取ったことがなかった自分は、ここで「あとは握手をすれば決勝に

進出」というのが目の前に見えた途端に緊張が一気に緩んでしまった。このため、6回戦まであと30分くらい残っていたので会場をぶらぶらしてしまった。

そこでついに1枚\$5になってしまったラスベガスプレイマットを発見して知人の注文に応じたり、結局はキャンセルしたモダンマスターズドラフトの3パックを貰いに行ったり、16時からの「VIP用の無料ドラフト」に不参加だった人は3パックだけ貰いに行けると聞いてそっちにいったりアラジンさんにもそれを教えたりしているうちに、気がついたら30分は経過して6回戦が始まっていて遅刻でゲームロス。馬鹿だろ俺 orz。

ともあれ着席し「1本ゲームを取られた状態で開始します」とのジャッジのアナウンスを受ける。しかしまあ結局は握手だよねと思いつつ気を取り直して対戦相手に「じゃあIDしませんか」と持ちかけるも、断られる。え？

相手が何を言っていたのかよく聞き取れなかったのだが、まずは1本取れたのでこのままなら続ければ勝てるということなのだろうか。ともあれ追求せず対戦を開始する。

そして2回戦はさくっと勝利する。いややっぱ、このデッキ強いわ。これで1-1。

ここで再度、にっこり笑って「やっぱり今度こそIDしませんか？」と再度持ちかけるも、断られる。え？

ここで再度相手の話をよく聞いて、相手が何を言っていたのかをようやく理解できた。

**GPの「スーパーサンデー」は上位8名が決勝ドラフト進出なのではなく、スタン上位4名とシールド上位4名で決勝ドラフトをやるというシステムなのであった。  
それでは確かに6回戦でIDをしては決勝には残れない。**

それじゃあ仕方ないなと思いつつ、こちらもガチで3戦目を開始。

相手の回りも決して良くはなかったのだが、こちら側も微妙に色事故を起こしたりしてデッキが回らずに敗退。うん、やっぱ完全にツキを逃しちゃったね。

そして最終7回戦。相手は白青黒赤。

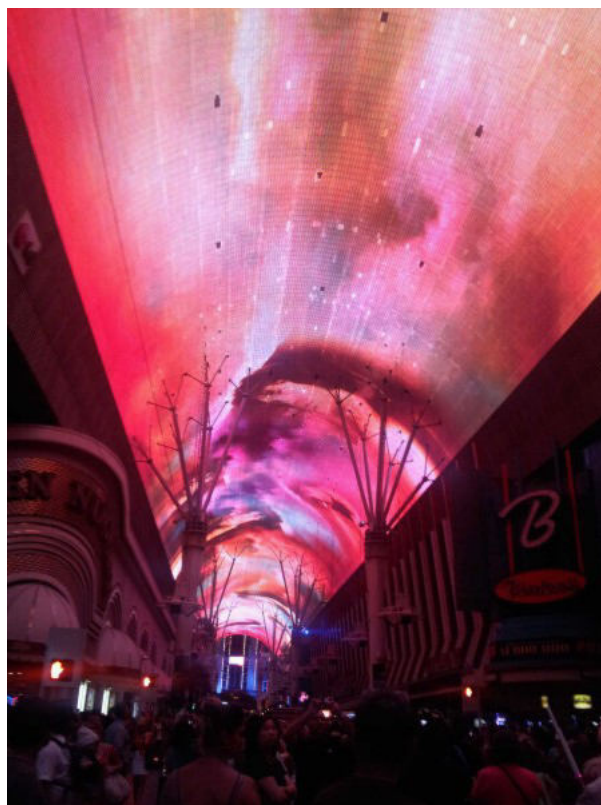
一応これに勝てば上位4名に入れたと思う…のだが、いちど逃したツキは決して戻らず、向こうがよく回って適切な除去や逆転の目なども引けずに0-2で負け。

このため結局は5-2の9位で、21パックを貰って終了。普段の私からすれば出来すぎの戦果ではあるが、アホな理由で6回戦第1ゲームを落とさなければあるいはあると思うと残念。ともあれ、これで私のGPラスベガスは終了。

## ダウントウンで夕食

全員のゲームが終了したので、現地に居た他の日本人プレイヤーも誘ってタクシーでダウントウンに行く。

エロ婦警のコスプレのお姉ちゃんと写真を撮ったり（この本の表紙）、ダウントウン名物の天井ディスプレイ映像に見とれたりした後に、バフェイに入りたらふく食う。うまかっちゃん。



タクシーでフーターズホテルに戻ってから、今夜もカジノ。

\$60で3時間遊び、結局のところプラスにもマイナスにもならず。

「稼ぐ」としては効率は良くないが「遊ぶ」には案外お金がかからないね、カジノって。

日記を書いて4時に就寝。

## 2013 年 6 月 24 日（月）帰国日

のんびり起きてから、3人でフーターズで朝飯。もうこれでいいよね。

自分とアラジンさんは今日チェックアウトで、よこくるさんはもう一泊。

今日の我々の予定は、チェックアウトは正午までに行う必要はあるのだが、空港に向かうのは15時で十分。あとはフリー。

まだ土産を買い足りないというアラジンさんは自分の荷物をまとめてチェックアウトの後、フロントに荷物を預けてどこかに行った。

## ホテルのプールと最後のカジノ

もうお土産も買った自分は、午前中はホテルでのんびりすることにする。

まずはホテルのプールにチャレンジ。1Fプールに降りて聞くと、更衣室などは無いので自分の部屋で水着に着替えて来いという。別にロッカーもないのでルームキーだけを携帯しろとのこと。なるほど。用意してきた水着に着替えてバスタオルを身体に巻いてルームキーカードだけを持参してエレベーターを降り、プールに入る。

WEBサイトではビキニのおねえちゃんがたくさんいたフーターズホテルのプールだったのだが、あいにくの少し肌寒い曇り空（雨もぱらぱら）のため、泳いでいるのは私ひとり（泣）。ただしプールサイドにはカップルやおっさんもそれなりに10数名居た。とはいえ残念だ。ビキニのおねえちゃんとキャッキャウフフしたかったのに。

プールを出てから荷物をまとめて昼前にチェックアウト。荷物をフロントに預けたうえで、では3時間カジノで遊ぼう（笑）。

カジノでは例によって1時間半ほど遊んで\$20ほど浮いた後、小休止に席を外したところ\$3台を取られて空かなかったなので、まあいいかと思ってカジノはここで終了にする。

土産に持ち帰る\$5チップを吟味して、残りは現金化。いやあ、結構カジノ黒字になるね。あとはホテルのショップでフーターストランプなど買って終了。

## 帰国

15時にアラジンさんと、やはり今日帰る日本人プレイヤーとで合流したうえ、空港までタクシーで。なお、フータースタクシーの予約をし損ねるという痛恨のミスをしたので、普通のタクシーで空港まで。

空港のバーガーキングで遅い昼食の後、無事に搭乗。さらばラスベガス。



ロスアンゼルスで少々待ち時間が発生。

また Yuuki Shindo さんらとも同じ飛行機であったことが判明。

なにげともなくロスアンゼルスを離陸し、機内で10時間暇を潰してから日本に到着。

日付変更線をまたいだので、日本時間では6月25日（火）の夜に。

空港でWifiモデムを返却して、23時半に羽田空港を出て普通にモノレールとJRに乗り、日付が変わった後に新小岩に到着。

何かあったら外泊も覚悟したところだったが、飛行機の遅延がなくて良かったー。

さすがに新小岩ではタクシーを拾って我が家に帰宅。

おうちに帰るまでがGPですが、とうとうGPラスベガス終了。楽しかったあ。

(GPラスベガス参加記 終了)

# ドレスアップの文化について

ラスベガスというのは普通に「カジノ」の街なので、そりゃあもう街中ど派手なもんでした。そしてとりわけ印象深かったのが、カジノで遊んでいたりストリートを歩く若い女性たちの「ドレスアップ」ぶりでした。

要するに肩や胸元や太股の肌を大胆に露出しまくりーの、強調しまくりーの、目のやり場に困るような女性たちで夜の街は溢れているのです。

率直に言って「おねえちゃん、いくら？」と声をかけたくなるような方々ばかり。

いや実際、おそらくそのうちの少なくない女性は夜の商売の方々であるとも思うのですが、しかしどう見ても明らかに「そうではない」方々もいらっしゃるのですね…。

たとえば「家族連れ」でオッサンと一緒に来ているオバチャンとか、あるいは一緒にいる小学生くらいに見える娘さんとか、あるいはどう見ても商売な方々には見えない地味目の女の子のグループとか。

しかしそのようなオバチャンや幼女少女たちも「ぽん きゅ ぽん」なドレスを着ていたりするのですよ（まあ中身はお察しではあるのですが）。

つまりこれはどうやら、カジノとかパーティーとかの「ハレ」の場で遊ぶ場合には、ちゃんと女性は色っぽいドレスで着飾るべし、という文化の賜物らしいのですね。

ラスベガスとは色々な意味で非日常感が満載の空間でした。

ビバ、アメリカ！

おまけ

## ラスベガスで買ったものなど紹介（微エロ）



### ←フーターズ・トランプ

全部で5種類ほど発売されており、すべてのカードが1枚1枚異なるフーターズガールのピンナップになっています。

一部、日本のフーターズで買えるかもしれません。

土産物の中で、マジックプレイヤーの目が一番輝いていたものでした（笑）。

1個たった\$5だったので、大量に買ってくれば良かったと思いました。

### ヌードトランプ→

某アラジンさんが自分のぶんも買ってくれた観光土産。

カードの写真を全部載せてしまうとこの本がコミケで売れません（笑）。取り扱い注意。



### ←ピンクチラシ雑誌

大通りに設置されているピンクチラシ雑誌ボックス

から無料で拾えます。

中はコールガール（年増・ホモもあり）の広告と

電話番号。\$69でホテルの部屋まで呼べるみたいですょ…？



### フーターズ・ミネラルウォーター →

G PラスベガスのVIPサービス「1ラウンド1本までミネラルウォーター配布」もそうでしたが、ラスベガスは乾燥しておりジュースも1本\$3くらいするので、どうやら「無料のミネラルウォーター」というのがサービスになるみたいです。

フーターズホテルでも「1日1本」フーターズ謹製ミネラルウォーターがホテルの部屋に置かれておりました。このため毎日部屋に置いてあったミネラルウォーターを飲まずに鞆にしまって、何本も持ち帰ってきました（笑）。



### GP ラスベガス・非公式プレイマット（のうちの1枚） ↓

某ショップがラスベガスをモチーフにして5種類を会場で販売していました。

ラバー製で、デザインは良いのも悪いのもあったり。



日記本文で述べたように、最初の金曜日は1枚\$20の5枚\$90で売っていましたが、後半はどんどん値が下がり最後は売れ残り1枚\$5に（笑）。まあGPラスベガスが終われば売れないシロモノとは言え、諸行無常。

自分は、初日に自分のぶんを5枚\$90で買いましたが（涙）、後半も土産用に何枚か買いました。

## GPラスベガス参加記

発行：新小岩マジック <https://twitter.com/kondohi>

発行日：2023年9月14日 ver1.3 （2013年8月12日 ver1.00）

本書の文章や写真などの無断転載を禁じます